



予防接種で安心を

予防接種は、感染症の流行を防ぐほか、死亡率が高い病気や重い後遺症につながる病気の効果的な予防になります。

健診・予防接種 ▶

市ホームページID.1007357



問い合わせ 健康推進課(東8南13、保健福祉センター内、☎25・9720)

子ども・妊婦の定期予防接種

子ども・妊婦の定期予防接種は、対象期間内に限り、無料で受けることができます(右表)。

乳児期は対象となる予防接種が多く、それぞれ対象年齢や接種回数異なるので、計画的に受ける必要があります。

なお、接種の際は母子健康手帳を忘れずにお持ちください。

令和8年4月から

妊婦対象「RSウイルスワクチン」定期予防接種の開始

新生児や乳児のRSウイルス感染症の重症化を予防するため、妊婦を対象としたRSウイルス感染症の定期予防接種が始まります。対象期間内に限り、無料で受けられます(右表)。

RSウイルスは毎年流行し、乳幼児がかかりやすい感染症です。特に生後6カ月未満の乳児は重症化しやすく、気管支炎や肺炎などで入院が必要になることもあります。妊娠中にワクチンを接種することで、母体でつくられた抗体が胎盤を通じて胎児へ移行し、出生後の重症化を防ぐ効果が期待されます。対象の人は、接種をご検討ください。

なお、里帰り出産などで帯広市以外での接種を希望する場合は、事前に申請が必要です。詳しくは市ホームページをご覧ください。

表 子ども・妊婦の定期予防接種の種類など

対象疾病	ワクチン	対象期間	接種回数
ロタウイルス感染症	ロタ(ロタリックス)	生後6週～生後24週まで	副反応のリスクを低くするため、初回接種は14週6日までに受けることが推奨されています。
	ロタ(ロタテック)	生後6週～生後32週まで	2回
B型肝炎	B型肝炎	1歳になる前日まで(標準:2カ月・3カ月・7～8カ月)	3回
小児の肺炎球菌感染症	小児用肺炎球菌	生後2カ月～4歳児(接種開始月齢によって接種回数は異なる)	4回
ジフテリア、百日せき、破傷風、ポリオ、ヒブ	5種混合	生後2カ月～7歳6カ月になる前日まで	4回
結核	BCG	1歳になる前日まで(標準:5～7カ月)	1回
水痘(水ぼうそう)	水痘	1歳～2歳児	2回
麻しん・風しん	麻しん風しん混合(MR)	1期:1歳児	1回
		2期:年長児(令和2年4月2日～令和3年4月1日生まれ)	1回
日本脳炎	日本脳炎	1期:生後6カ月～7歳6カ月になる前日まで(標準:1期初回 3歳児/1期追加 4歳児)	3回
		2期:9歳～13歳の誕生日の前日まで(標準:9歳児)	1回
		平成18年4月2日～平成19年4月1日生まれの人は、特例的に20歳の誕生日前日まで定期接種(無料)の対象です。	4回
ジフテリア、破傷風	2種混合	11歳～13歳の誕生日前日まで	1回
ヒトパピローマウイルス感染症(子宮頸がん予防)	HPV	小学6年生～高校1年生相当の女子(標準:中学1年生相当)	2回 または 3回
RSウイルス感染症	RSウイルスワクチン	妊娠28週0日から36週6日まで	1回 (妊娠ごと)

令和8年4月から

高齢者 肺炎球菌ワクチンが変わります

高齢者の定期予防接種で使用する肺炎球菌ワクチンの種類が「ニューモバックス」から「プレベナー」へ変更となります。また、自己負担額が2900円から3300円に改定されます。

対象者には、65歳を迎えた翌月にお知らせを郵送しますので、ご確認ください。

接種前に確認しましょう

予防接種を受ける際は、説明書をよく読み、効果や副反応などのリスクを理解した上で接種しましょう。予防接種で気になることがあれば、接種前にかかりつけ医か、健康推進課へご相談ください。

実施医療機関や各予防接種の詳細は、各施設に設置する「健康づくりガイド」または市ホームページをご覧ください。



人間ドック・脳ドックの申し込みを受け付けます

健康を維持するために、定期的に検査を受けて病気の予防に努めましょう。

問い合わせ 国保課(市庁舎1階、☎65・4138)

受付期間

4月3日(金)～9日(木)

対象・定員

国民健康保険(国保)枠 (次のすべてを満たす人)

- ▶ 4月1日現在、帯広市国保加入者で、昭和26年11月2日～昭和62年3月31日生まれの人(昭和26年11月2日～昭和27年3月31日生まれの人は誕生日前に受診)
- ▶ 国民健康保険料に未納がない世帯の人(令和8年3月31日までに納付、もしくは納付誓約した人)
- ▶ 脳ドックは、令和7年度に国保の脳ドックを受診していない人

定員 人間ドック 450人 / 脳ドック 700人

後期高齢者医療制度枠 (次のすべてを満たす人)

- ▶ 4月1日現在、①市内在住の北海道後期高齢者医療制度加入者または、②昭和26年4月1日～昭和26年11月1日生まれの帯広市国保加入者(②の人は誕生日後に受診)
- ▶ 国民健康保険料、後期高齢者医療保険料に未納がない世帯の人(令和8年3月31日までに納付、もしくは納付誓約した人)
- ▶ 脳ドックは、令和7年度に国保・後期高齢者医療制度の脳ドックを受診していない人

定員 人間ドック 50人 / 脳ドック 200人

申込方法

- ☑ **インターネット** 4月9日(木) 24時受信分まで有効

市ホームページから申し込みできます。

市ホームページID.1002650



- ☑ **郵送・持参** 4月9日(木) 消印有効

申込書を国保課へ郵送、または国保課、川西・大正支所に持参してください。

申込書は、国保課、川西・大正支所、各コミセン、大空会館で配布しています。市ホームページからも印刷できます。

【送付先】

〒080・8670 西5条南7丁目1番地 帯広市役所国保課ドック受付係

⚠ 注意点

- ・申込数が定員数を超えた場合、過去の申し込み状況などを考慮して抽選で決定します。結果の通知は5月中旬の予定です。
- ・当選した場合は、受診時に負担金5000円が必要です。
- ・人間ドック、脳ドックの重複申し込みは無効です。
- ・脳疾患で治療中または経過観察中で、主治医から受診許可が出ていない人は、脳ドックの申し込みができません。
- ・脳ドックのMRI検査では強い磁気を発生するため、体内に金属などがあるときは申し込みができない場合があります。